

令和4年度高知市立鏡中学校部活動の方針

1 本校における部活動の位置づけ

本校においては、部活動を「生徒の自主的、自発的な参加により、行われる部活動については、スポーツや文化、科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養^{かんよう}等、学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものであり、学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること」（平成29年7月告示中学校学習指導要領第1章総則第5の1のウ）の記述に基づき、学校教育の一環として位置付ける。

本校における全ての教育活動は、学校教育目標「学習への意欲を持ち、心身ともに健康でたくましく生きる生徒の育成」の具現化を目的として行われる。部活動も同様である。

2 本校における部活動の適切な運営のための体制整備

(1) 部活動運営方針の策定等に関すること

ア 校長は、高知市運動部活動ガイドライン（平成30年12月策定）を参考に毎年度「高知市立鏡中学校部活動運営方針」を策定する。本方針には文化部も含めるものとする。

イ 校長は、年間の活動計画（活動日、休養日及び参加予定大会日程等）並びに毎月の活動計画及び活動実績（活動日時・場所、休養日及び大会参加日等）を担当教員に作成させ、提出をさせるものとする。

ウ 校長は、アの内容を毎年、全校生徒に説明するとともに、保護者には「PTA 総会」の場で説明する。さらに部活動加入生徒には4月に開催される「部活動発足式」において説明する。

(2) 部活動の指導・運営に係る体制の構築について

ア 校長は令和4年度、本校に以下の部活動を置く。

【体育部】

・バドミントン部

*陸上競技については、大会引率のみとする。ただし、四国中学総体・全国中学総体以外の県外大会出場及び県外遠征については学校の教員は引率をしないので、保護者が責任をもって引率する。（教員の引率しないことで大会出場が認められない場合は出場できない。）

*校内の部活動に入部する場合は、令和5年度からは部活動の大会を優先し、それ以外に出場できる場合のみ特別に参加を認めることとする。

【文化部】

・音楽部

イ 校長はアの各部活動に対して顧問・副顧問を配置する。

- ウ 本校生徒は、顧問・副顧問に入部届を提出することで部員となることができる。
*陸上競技の出場については、学校長の許可が必要である。(年度当初に保護者が学校長に申し出て、許可を受けて大会に申し込み、参加することが出来る。)
- エ 校長は、毎月の活動計画及び活動実績の確認等により、各部活動の活動内容を把握し、生徒が安全にスポーツ・文化活動を行い、教員の負担が過度とならないよう、必要に応じて指導・是正を行うものとする。
- オ 校長は、各部活動の保護者に対して保護者会の結成及び加入の依頼を行う。
- カ 校長は、PTA 総会で承認された生徒活動費を各部活動(バドミントン部・音楽部)に配分して活動をさせることとする。なお、活動費が不足する場合には、保護者会において説明し、理解を得たうえで保護者会費を徴収することができるものとする。保護者会費の額の決定や徴収及び予算・決算・監査等の管理については保護者会に委託するものとする。
- キ 校長は、必要に応じて顧問・副顧問会、キャプテン会、部活動集会を開催し、生徒の自治活動を援助することに努めるものとする。

3 本校における合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進のための取組について

(1) 適切な指導の実施

- ア 校長及び顧問・副顧問は、生徒の心身の健康管理、事故防止及び体罰・ハラスメントの根絶を徹底する。
- イ 校長及び顧問・副顧問は、生徒とコミュニケーションを十分に図り、生徒がバーンアウトすることなく、技能や記録の向上等それぞれの目標を達成できるよう、競技種目の特性等を踏まえた科学的トレーニングの積極的な導入等により、休養を適切にとりつつ、短時間で効果が得られる指導を行う。また、発達個人差や女子の成長期における体と心の状態等に関する正しい知識を得た上で指導を行うため、専門的知見を有する保健体育担当の教員や養護教諭等と連携・協力する。

(2) 適切な休養日等の設定

- ア 学期中は、週当たり2日以上休養日を設けることを基準とする。(平日は少なくとも1日、土曜日及び日曜日(以下「週末」という)は少なくとも1日以上を休養日とすることを基準とする。週末に大会参加等で活動した場合は、休養日を他の日に振り替えることを基準とする)
- イ 長期休業中の休養日の設定は、学期中に準じた扱いを行うことを基準とする。また、生徒が十分な休養を取ることができるとともに、部活動以外にも多様な活動を行うことができるよう、ある程度長期の休養期間(オフシーズン)を設けることを基準とする。
- ウ 1日の活動時間は、長くとも平日では2時間程度、学校の休業日(学期中の週末を含む)は3時間程度を基準とし、できるだけ短時間に合理的でかつ効率的・効果

的な活動を行う。

エ 定期考査発表中における部活動停止期間を設ける。定期考査終了日より10日以内に公式戦・コンクール等のある部活動は職員会で承認され、保護者会の了承を得た上で、1時間程度の練習を認めることがある。

(3) 熱中症事故の防止

ア 校長及び顧問・副顧問は、熱中症の予防に最大限の努力を行う。

4 学校単位で参加する大会等の見直し

(1) 校長は、生徒の教育上の意義や、生徒や顧問・副顧問の負担が過度とならないことを考慮して、参加する大会等を精査する。

5 その他

(1) 台風等の接近や集中豪雨、地震等への対応

ア 授業日については、学校及び市教委が行う判断通りとする。

イ 授業日以外の練習については、練習開始1時間前に「大雨」「洪水」「暴風」のいずれかの警報が高知市に発令されていた場合は、活動を中止することとする。

なお、対外試合等の場合は、顧問・副顧問から連絡を行うこととする。

(2) 細則の制定

校長は、本方針に基づいた運営細則を作成し、生徒及び保護者に説明することとする。

令和4年度高知市立鏡中学校部活動運営細則

1 適切な休養日等の設定に関すること

① 放課後の練習時間の設定について

⇒ 6時間授業の日は、15時45分の放課から15分後の16時00分に練習を開始し18時00分に終了、18時15分には学校を出ているものとする。

放課が早い場合はこれに準じて15分の準備時間、2時間以内の練習、終了後15分で完全下校をすることを原則とする。

② 朝練習の設定について

⇒ 朝練習を行う場合には、朝の学活に間に合わないという事態が生じないことを顧問・副顧問が徹底する。

③ 同じ週に土曜日・日曜日と連続で対外試合等があった場合の対応

⇒ 次の週に予定されている平日の休養日に加えて新たにもう一日平日の休養日設けることを原則とする。次の週の土日を連続で休養日とすることも可能とする。

④ テスト期間中に土日を休養日とした場合の対応

⇒ 週休日に限り、休んだ日数を他の週の休養日と振り替えることができるものとする。振り替えることができる期間は前後1カ月ずつとする。

2 教員の特殊業務手当に関すること

① 3時間の特殊業務手当が新設された場合の対応

⇒ 4時間の特殊業務がなくなる場合は3時間の申請をする。

3 教員の働き方改革との関連に関すること

① 月に1回程度の定時退校日との関連について

⇒ 鏡中学校は、週1回水曜日を定時退校日に設定する。水曜日に全ての部活動の平日休みを合わせることで、教員が休養を取りやすい環境を創ることとする。

② 夏季休業中の閉庁日との関連に関すること

⇒ 令和4年度に予定されている閉庁日の8月8日(月)9日(火)10日(水)11日(木)12日(金)には部活動を行わないことを原則とする。ただし、公式戦及びコンクール等が近くにある場合や中体連専門部や競技団体主催の合宿等がある場合には校長の許可を得て、実施することができるものとする。